

天狗荘の現状

県が販売したプレミアム観光券の利用額が600万円あったが、林道東津野城川線の道路崩壊による8月まで通行止めが大きく影響し、単年度では約500万円の赤字決算となった。本年度は奥四万十博で例年以上の集客を予想し、来年3月には志国高知幕末維新博が開催される。県各部署の指導により天狗高原の全体的な将来ビジョンを描き、天狗荘施設の改装改築も含めて各種対策を講じていく。



天狗荘

ふるさとセンターの現状

天狗高原への主要道の開通後は天候にも恵まれ例年以上の売り上げを確保した。風車の駅では食堂のリニューアルを行いメニューも一新した結果、対前年比で105%の道の駅では奥四万十博への期待感もあり107%。十津店では月一回のイベントを行ったが97・5%。瀬戸店はしきみ・さかき・花類を週4日の営業で49%。全体の売上金額は2億100万円で対前年比99%で約400万円の赤字決算となった。

道路整備等に関わる要望

5月15日、県議会産業振興土木委員会業務執行調査時に、国道439号及び県道窪川船戸線岩土第2工区の早期完成等4項目を陳情。

5月16日、道路整備促進期成同盟会総会・県大会では「四国8の字ネットワーク」の整備促進、地域住民の生活に直結する「命の道の整備」「老朽化対策」に

対する補助制度拡充等5項目の決議。

5月26日、須崎土木事務所長以下21名の出席で移動土木を行い、国道改良・県道改良・砂防事業・急傾斜事業・修繕工事等細部にわたり要望。

学力向上対策

本年度も津野つ子夢プランに基づき、各学校の「学力向上」への取り組みを行っている。学習支援員6名と特別支援教育支援員8名を5校に派遣し、授業中・帯タイム・放課後学習での学習支援や「困り感」を抱えている子どもへの支援を行う。教員が子どもと向き合える時間の確保に努める。認定こども園は本年度も乳幼児教育の充実に向けた取り組みを進めている。道徳教育の充実とともに学校支援地域本部事業等を通じ、学校・保護者・地域が協働した取り組みの充実を図り、津野町の子どもの「学力向上」に努めていく。

(わが家のペット紹介) 今回は、岡林美貴さんの愛猫です。



- ・住所 石指
- ・名前 ゆめ
- ・生年月日 平成23年5月15日
5歳の男の子です
- ・猫種 スコティッシュホールド
- ・飼い主さんから一言
1歳のとき、高知新聞の【わが家の天使】に載りました。
他にも凡太・ぽん太・ぺぺがいます。
- ・ゆめ君の一言
4人兄弟で仲良く遊んでいますよ